

今週は名詞の格変化について扱う。今回は処格(前置格)を取り上げる。処格は、日本語で場所を表すときの「～へ」などで使う格変化であり、英語では to (場所) や in (場所) と書かれる。こちらも英語にはない格変化である。なおここでは特に場所を表す格として紹介する。

(例)

- Я в Кобі. (私は神戸にいる。)
- Він вивчає Українську мову в Японії. (彼は日本でウクライナ語を勉強している。)
- Вона в Києві від народження і донині. (彼女は生まれてから今までキーウにいる。)

ここに性別ごとの格変化の語尾をリストアップする。頻出の属格と対格も併記する。まずは男性名詞単数形。なお単語 Київ は Type 2 である。地名は変格型が特に多い。

男性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	∅	∅	∅ / -ь	-й
属格	-а / -у	-а / -у	-я / -ю	-я / -ю
対格	∅ / -а	∅ / -а	-ь / -я	-й / -я
処格	-ові / -і / -у	-еві / -і	-єві / -і	-єві / -ї

次は中性名詞単数形。なお単語 **Кобє** は変格型である。

中性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	-o	-e	-e	-я
属格	-a	-a	-я	-я
対格	-o	-e	-e	-я
処格	-i	-i	-i	-i

次は女性名詞単数形。なお単語 **Японія** は Type 4 である。

女性名詞単数形の格変化

格	Type 1	Type 2	Type 3	Type 4
主格	-a	-a	-я	-я
属格	-и	-i	-i	-ї
対格	-у	-у	-ю	-ю
処格	-i	-i	-i	-ї

※-ka で終わるものは-ці に変えるなどの変化は変格に含めないものとする。

ここで補足。本表におけるタイプ区分は母音別の区分で、格変化の大まかな目安といえる。Type 1 と Type 2 は硬母音(a, и, y, e, o)型、Type 3 と Type 4 は軟母音(я, i, ю, є, ї, й, ь)型という。

◇単語集 今回は名詞のコーナー。「男-1」は男性名詞の Type 1、「女-4」は女性名詞の Type 4 などと表すことにする。

単語	活用	意味
бутерброд	男-1	サンドウィッチ
ведмідь	男-3	クマ
готель	男-3	ホテル
журнал	男-1	雑誌
книга	女-1	本
місто	中-1	都市
музика	女-1	音楽
овоч	男-2	野菜
піаніно	中-1	ピアノ
рука	女-1	手
сорочка	女-1	シャツ
телефон	男-1	電話

□練習問題

ウクライナ語を和訳せよ。なお2の«Світ»は訳さなくてよい。

- (1) Вона в Америці?
- (2) В Японії слово «Світ» означає «Секай».
- (3) Сенсей буде в Україні в серпні.

□復習問題

ウクライナ語を和訳せよ。

- (4) У тебе є яйця?
- (5) Моя сестра не співає цю пісню.
- (6) Ця спідниця дешева.

次回は名詞の与格を取り上げる。